

黄昏のメトロ

夕暮れ 君と待ち合わせた
地下鉄のホームに佇んで
街のざわめき 行き交う人波を
ぼんやりとあてもなく眺めてた

君の思いはこの胸に
二度と戻らない時間に

いつでもこの場所で君に会える気がしてた
消え行く幻のような記憶
走り去る列車を何度見送れば
また君に辿りつくのだろう

さよなら 君が手をほどいた
地下鉄の改札見つめて
街は黄昏 行き交う人達は
足早に誰かのもとへ急ぐ

君の思いはこの胸に
二度と帰らない時間に

いまでもこの場所で君に会える気がしてた
寄り添い歩いた日々の記憶
走り去る列車の窓には涙で
滲んだ僕の影ただ一人

いつでもこの場所で夢のかけら探してた
彷徨い歩き始めた二人
すれ違う列車の窓から差し込む
新しい光優しく揺れた